

第60回

福岡県公民館大会



平成27年8月4日 [火曜日]
岡垣サンリーアイ [ウエーブアリーナ]



福岡県イメージキャラクター
ひわりん&ひろすけ

岡垣サンリーアイ

岡垣町の文化・スポーツの複合施設



焼酎岡垣

町民ボランティアが収穫した黄金千貫



アカウミガメ

大海原へ元気に旅立つ子ガメたち



主催 福岡県公民館連合会 福岡県教育委員会

目次

第60回福岡県公民館大会 県公連会長挨拶	1
第60回福岡県公民館大会 開催要項	2
平成27年度公民館役職員表彰一覧	4
平成27年度優良公民館表彰一覧	7
講演	8
シンポジウム	10
福岡県公民館大会年表	12

岡垣サンリーアイ

岡垣サンリーアイは、良質の音響効果を実現し芸能文化の発表や講演会等を行うハミングホール(595席)、国内・国際レベルのスポーツ公式試合が行えるウエーブアリーナ(41m×38m)、木製の書棚が並ぶサンリーアイ図書館などの複合施設です。茶室やフィットネスジムもあり、多目的施設として町内外の皆様にご多数ご利用いただいています。施設名称「サンリーアイ」は、玄海国定公園の一角である三里松原の「さんり」と、ふれあいの「あい」を合わせたものです。

焼酎岡垣

焼酎岡垣は、現代の名工黒瀬安光氏が、岡垣の大地ではぐくまれた芋「黄金千貫」と、岡垣の良質な地下水で仕上げた“本格芋焼酎”です。華やかな香りと風味で飲みやすく、女性にも人気があり、特にロックがおすすめです。芋の栽培・収穫には町民ボランティアなど町全体で取り組み、地域に愛される特産品の一つとなっています。

アカウミガメ

岡垣町の海岸一帯は、絶滅危惧種に指定されているアカウミガメが産卵にかえる最北端の場所となっています。1995年に「町のイメージづくり計画」で策定されたキャッチフレーズ「海がめもかえる町おかがき」には、岡垣町が“かけがえのないふるさと”になって欲しいという町民の願いが込められています。

三里松原

三里松原は、海岸線に沿って約12kmに広がる松林で「日本の白砂青松100選」にも選ばれた美しい自然スポットです。今から800年ほど前までは、この地は鳥取砂丘のように砂ばかりでした。神功皇后が三韓征伐のために香椎に宿陣された際、砂や風、塩害から農作物を守るために、この地に千本の松を植えたことがはじまりと言われています。

高倉びわ

岡垣町で栽培されるビワは、「高倉びわ」ブランドとして100年を超える歴史があり、福岡県内で第1位の生産量を誇っています。そのビワをモチーフにした岡垣町イメージキャラクター「びわりん&びわすけ」は、2012年の町制施行50周年を記念して誕生しました。いつも一緒にいる仲良しのふたり、ほのほのとしたやさしい表情が特徴です。



岡垣町イメージキャラクター
♥びわりん&びわすけ★

第60回福岡県公民館大会 県公連会長挨拶



福岡県公民館連合会会長 中嶋 裕 史

県内各地から、公民館に関わっておられます皆様の御参加をいただき、ここ岡垣町におきまして第60回福岡県公民館大会が盛大に開催されますことをたいへん嬉しく思っております。

また、本日は、地域の公民館活動の振興に顕著な御功績があった方々や、公民館運営並びに事業等の活動が優秀な公民館に対しまして、福岡県公民館連合会から表彰をさせていただきます。表彰を受けられます皆様には、これまでの御尽力に対しまして、心から敬意を表しますとともに、感謝申し上げます。

さて、福岡県公民館連合会は、昭和25年に結成され、今年で65年目を迎えております。この間、公民館は、地域住民の実際生活に即した課題を解決するため、世代や立場などの異なる人々が集い、共に学び、つながりをつくる地域の学習拠点として、地域づくりや人づくりに大きく貢献してまいりました。

また、近年では、少子高齢化や都市化の進行による人間関係の希薄化を危惧する声や東北大震災に端を発した地域における防災意識の高まりなどから、改めて、公民館の存在意義が見直されております。

この機会を逃さず、様々な人々が地域で学び、学んだことを広げ、さらには、地域を動かす人々の活力を生み出す公民館としての役割を明確にしていく必要があると考えております。そのためにも公民館関係者による日々の研鑽が必要であります。

本大会は、こうした視点を踏まえて、テーマを「地域に活力を生み出す公民館の役割」とし、宇都宮大学地域連携教育研究センター准教授、佐々木英和様に「地域のつながりを豊かにする公民館のあり方」～「教育としての社会教育」の可能性～と題し、御講演をお願いしております。

午後からのシンポジウムでは、「活力を生み出す公民館」をテーマに、協議を深めてまいりたいと考えております。

本大会が、皆様方にとりまして、実り多き大会となりますことを、心から願う次第です。

おわりに、本大会の開催に当たり、準備から運営に至るまで、多大なる御支援を賜りました地元岡垣町をはじめ、北九州地区の皆様、関係各位に心から感謝申し上げますとともに、御参加いただいた皆様のますますの御活躍と御健勝を祈念申し上げ、挨拶といたします。

平成27年8月4日

第60回 福岡県公民館大会開催要項

- 1 趣 旨 社会情勢が急激に変化する中で、県内の公民館関係者・コミュニティ施設関係者が一堂に会し、公民館として果たすべき役割等について理解を深めることにより、今後の公民館等の活動の一層の充実・発展に資する。
- 2 大会テーマ 地域に活力を生み出す公民館の役割
- 3 主 催 福岡県公民館連合会、福岡県教育委員会
- 4 主 管 岡垣町教育委員会
- 5 後 援 福岡県、岡垣町、福岡県市長会、福岡県町村会、福岡県市町村教育委員会連絡協議会、福岡県社会教育委員連絡協議会、福岡県視聴覚教育協会、福岡県PTA連合会、福岡県地域婦人会連絡協議会、福岡県子ども会育成連合会、福岡県文化団体連合会、福岡県明るい選挙推進協議会、福岡県金融広報委員会
- 6 期 日 平成27年8月4日（火）
- 7 会 場 岡垣サンリーアイ
〒811-4233 遠賀郡岡垣町野間1丁目2番1号
TEL 093-282-1515
- 8 参 加 者 約1,000名
公民館等職員、公民館運営審議会委員、自治（町内）公民館等関係者、コミュニティ施設関係者、社会教育委員、行政関係者、学校教育関係者

9 日 程

9:30～10:15 受 付

10:15～11:00 大会式典
・主催者あいさつ
・来賓祝辞
・表彰式
・日程説明

11:00～12:10 講 演

「地域のつながりを豊かにする公民館のあり方」
～「教育としての社会教育」の可能性～

宇都宮大学 地域連携教育研究センター
准教授 佐々木 英和 氏

12:10～13:10 昼 食

13:10～15:00 シンポジウム

「活力を生み出す公民館」

(登壇者)

佐々木 英和 氏 (宇都宮大学地域連携教育研究センター准教授)

河内 ひとみ 氏 (広島県大竹市立玖波公民館職員)

坂口 恵一 氏 (福岡県糸島市立南風公民館長)

(コーディネーター)

大島 まな 氏 (九州女子大学人間科学部教授)

15:00 閉 会

・次期開催地あいさつ

福岡県公民館連合会表彰

祝

平成27年度公民館役職員表彰

平成27年度優良公民館表彰

平成27年度福岡県公民館連合会公民館役職員表彰一覧

種別	番号	市町村名	氏名	所属	役職名	業績（分野及び内容）
公立公民館	1	福岡市	やまねみちえ 山根三知江	東区 かすみがおかこうみんかん 香住丘公民館	主事	【地域づくり】 主催事業の実施にあたって、将来の地域コミュニティ活動を担う人材の発掘・育成を主眼の一つとしており、事業の企画段階から地域住民を参画させ、多様な経験を積ませることで地域コミュニティの発展に尽力した。
	2		さかいちづこ 堺千鶴子	東区 まいまつばらこうみんかん 舞松原公民館	前主事	【地域づくり】 地域の担い手づくりに積極的に取り組みワークショップや地元出身作家を招聘しての講演会を実施することで、公民館を利用する機会が少ない世代への啓発活動を行い、公民館の活性化に寄与した。
	3		ふくちまゆみ 福地真弓	博多区 かたかすこうみんかん 堅粕公民館	主事	【地域づくり】 主催事業の「石堂塾」、健康教室、地域体育振興、子ども育成、人権問題学習、青少年健全育成関連などの計画立案に長けており、地域の関係諸団体との連携を上手く図りながら円滑な運営をし公民館事業に貢献した。
	4		なかむらるみこ 中村留美子	中央区 あかきかこうみんかん 赤坂公民館	主事	【団体育成・サークル活動】 主催事業の実施にあたって、人と人とのふれあいを大切にし、校区のコミュニケーションの拠点になるように努め、交流を通して参加者同士が学び合いボランティア活動へ繋げるなど団体育成に寄与した。
	5		こがねまるようこ 小金丸洋子	中央区 みなみとうじんこうみんかん 南当仁公民館	主事	【団体育成・サークル活動】 子どもの健全育成や地域コミュニティ支援、家庭教育学級などの事業に対して、新しい視点を加えながら実施し、多くの住民が参加可能な企画立案を通して、公民館事業の活性化に尽力した。
	6		こがめいこ 古賀盟子	早良区 にしじんこうみんかん 西新公民館	主事	【団体育成・サークル活動】 地域ボランティアの手による子育てサロン「すくすくランド西新」を育成・支援し、見守りボランティアの人材確保や施設の環境整備等、運営に係る側面的な支援に尽力した。
	7		くまあけみ 久間明美	早良区 さわらこうみんかん 早良公民館	主事	【団体育成・サークル活動】 地域住民への情報提供や活動を通じて、より良い地域づくりに貢献するとともに、公民館事業における各種団体やサークルのパイプ役となって、それらの活動の推進及び育成に尽力した。
	8		ひさのけいこ 久野恵子	早良区 はらきたこうみんかん 原北公民館	主事	【団体育成・サークル活動】 高齢者向けに生涯学習の場となる「シルバーカレッジ」、子育て世代向けに「乳幼児ふれあい学級」及び「0歳児教室エンゼルクラス」の講座など公民館主催事業の企画・支援に尽力した。

種別	番号	市町村名	氏名	所属	役職名	業績（分野及び内容）
公立 公民館	9		とう 薫 しゅう 秀 いち 一	西区 きたぎきこうみんかん 北崎公民館	主 事	【地域づくり】 校区課題に対応すべく設立された「北崎を考える会」の事務局として、会の発展に寄与するとともに公民館の基本的機能である「集まる・学ぶ・つなぐ」を深く理解し地域のコミュニティ活動の支援等に尽力した。
	10		こ もり よし つぐ 古 森 義 次	西区 しもやまごころみんかん 下山門公民館	館 長	【地域づくり】 小学生の米作り体験の支援や校区花いっぱい運動を通じて、ボランティアの養成し、活動の機会を増やすとともに学校と地域との交流の推進を図り、安心・安全な地域づくりに貢献した。
	11		ふく え けい こ 福 江 恵 子	西区 い き み な み こ う み ん か ん 老岐南公民館	主 事	【地域づくり】 人権学習講座、高齢者の介護予防やいきがづくりを支援する高齢者地域参画支援講座、子どもの健全育成講座、環境問題学習講座、地域ボランティアの養成講座など様々な講座を企画・実施し、地域づくりに尽力した。
	12		なか の よし こ 中 野 美 子	西区 あたごころみんかん 愛宕公民館	主 事	【地域づくり】 公民館事業の計画・実行にあたっては、手際よく段取りして確実に成果を上げることができ、文書作成などパソコン操作能力も十分で各種データ処理等にも優れ、公民館事業の推進に寄与した。
	13	古賀市	ゆう き とし こ 結 城 俊 子	こうみんかんろうまい 公民館運営 しんぎかい 審議会	委 員	【公民館施設の管理・運営】 施設の改善について専門的見地からの指導・助言を行うとともに、現在建築が進んでいる生涯学習センター等に関する意見集約についても中心的役割を担い、公民館運営の向上及び生涯学習の推進に貢献した。
	14	朝倉市	はやし とし お 林 敏 雄	かながわ 金川コミュニティセンター	センター長	【高齢者教育】 元気な高齢者が自ら進んで活動する成人学級に20年以上前から取り組んでいる。その一つとして登山を開催し18年間実施している。長期的に存続するよう公民館における高齢者教育の推進と発展に尽力した。
	15		いし ばし ひろし 石 橋 洋	みなぎ 三奈木コミュニティセンター	センター長	【地域づくり】 5大事業(ホテルの里イベント・夏まつり・町民体育祭・ふるさと体感ジャンボリー・地区文化祭)の実施や地域の仲間づくりの場「ふれあいいきいきサロン」づくりの推進など地域づくりの発展に尽力した。
	16	飯塚市	もり した かず み 森 下 和 美	しょうないこうみんかん 庄内公民館 うんまいしんぎかい 運営審議会	委 員	【地域づくり】 公民館事業における高齢者を対象とした講座や家庭教育の講座等様々なジャンルにおいて、地域に根ざした視点から、豊富な知識と経験による貴重な意見や指摘をし、公民館事業の活性化及び地域づくりに貢献した。
	17	柳川市	かわ しま たか し 川 島 孝 志	たるみこうこうみんかん 垂水校区公民館	主 事	【地域づくり】 永きにわたり子どもたちへの様々な体験の機会の提供、子どもと地域住民とのふれあいの場の提供、またホンゲンギョウ、三世代グラウンドゴルフ大会、ナイトウォーク、故郷の歴史の学習など様々な取組を行い、地域づくりに貢献した。
18	行橋市	なか の ひで み 中 野 秀 美	ゆくはしこうみんかん 行橋公民館	主 事	【団体育成・サークル活動】 女性学級、子どもの講座の開設、及び自主学習グループの育成等、地域に根ざした生涯学習の推進に努めた。また社会教育団体等と共催で校区文化祭を企画実施するなど公民館活動の活性化に尽力した。	
自治(町内)公民館	19	北九州市	しら え き お 白 江 喜久男	門司区 ざるはみこうみんかん 猿喰公民館	館 長	【地域づくり】 校区のまちづくり協議会と連携しながら盆踊りやグラウンドゴルフ大会、もちつき大会などの行事を開催し、公民館の活性化に尽力した。また、地域の文化財保全にも取組み、館長として地域づくりに貢献した。

種別	番号	市町村名	氏名	所属	役職名	業績（分野及び内容）
自治（町内）公民館	20	北九州市	田中謙次 たなか けん じ	小倉北区 清水公民館 きよみづこうみんかん	館長	【地域づくり】 地域の様々な世代が交流できるよう、健康・体育・文化事業を積極的にを行い、地域づくりに貢献している。また事業を通じて地域に根ざし、親しまれる自治公民館活動を行い、公民館活動の活性化と振興に尽力した。
	21		阿南喜代美 あなん きよみ	小倉北区 中井婦人公民館 なかいふじんこうみんかん	館長	【地域づくり】 校区の自治公民館館長として地域と協力しながら、健康・文化事業を積極的にを行い、地域づくり及び生涯学習の普及に尽力した。また、地域に根ざし、親しまれる公民館活動の発展に貢献した。
	22		中村保文 なかむら やすみ	小倉南区 しもがもうこうみんかん 下蒲生公民館	館長	【地域づくり】 パソコン教室、絵手紙教室、詩吟教室等地域住民の要望に則した講座を開催するなど地域の生涯学習の振興に寄与した。さらに地域の防火・防犯活動の拠点として、安全・安心なまちづくりにも尽力した。
	23		森本秋雄 もりもと としお	若松区 みなみたかすこうみんかん 南高須公民館	館長	【地域づくり】 公民館活動に積極的に取り組み、行事を通して地域住民の連帯意識を強め、明るく住みよいまちづくりに貢献した。また、活動を通じて年長者福祉や青少年の健全育成など校区における地域づくり支援に寄与した。
	24		小田國次 おだくに つぐ	若松区 ありげこうみんかん 有毛公民館	館長	【地域づくり】 地域の公民館活動の内容の充実を図り、地域住民のふれあいの輪を大切に積極的に事業の発展に貢献した。地域活動が円滑に行われるよう公民館と地域との調和に寄与した。
	25		小田幸雄 おだ ゆきお	八幡東区 くさみかいかん 洞見会館	館長	【地域づくり】 カラオケ同好会、公園愛護会活動、ひまわり体操等による健康増進活動、介護予防の太極拳など自治会、地区社会福祉協議会、子ども会などと連携しながら積極的に活動し、交流の場として公民館を運営し、その発展に貢献した。
	26		古賀孝行 こが たかゆき	八幡西区 いづみ がつらこうみんかん 泉ヶ浦公民館	館長	【地域づくり】 地域のふれあいの場として「ふれあいサロン泉ヶ浦」を開催し、館の活性化を図るとともに、年間を通じて地域の幅広い年齢層の方が参加できるような事業を企画実行し、地域づくりに貢献した。
	27		越智不二男 おち ち ふじお	八幡西区 おりおにしこうみんかん 折尾西公民館	館長	【地域づくり】 スポーツ行事、餅つき大会や敬老会など地域の幅広い年齢層が参加できるような多彩な地域行事の開催の中心的役割を担った。また、海外からの留学生を招待するなど地域住民との交流の場を設け地域における国際交流に尽力した。
	28	小郡市	井戸守 いど まもる	ちゅうおうに くこうみんかん 中央2区公民館	館長	【地域づくり】 公民館長就任から10年間以上にわたり公民館だよりを年3回ほど発行し、積極的な広報活動を行うとともに、様々な公民館事業・イベントを企画運営した。また地元周辺において防犯パトロールを行うなど、青少年育成に尽力した。
	29	大川市	内藤肇蔵 ないとう げいざう	なかばるこうみんかん 中原公民館	館長	【地域づくり】 町内公民館のリーダーとして子どもから高齢者までの世代間交流や各種行事を積極的に取組んでいる。特に秋まつりは若い人と協力しながら企画を進めた結果、住民相互の親睦が繋がり明るく住みよいまちづくりに尽力した。
30		古賀孝則 こが たかのり	かみしんでんまちこうみんかん 上新田町公民館	前館長	【地域づくり】 毎年5月3日～5日に開催されている夏祭りは、多種多様な行事を組み込んで町内住民の親睦と融和を図り地域の活性化に繋がった。春と秋には町内清掃や町内パトロールを実施し、明るく住みよいまちづくりに尽力した。	
31	飯塚市	和田選 わだ えらぶ	うるのしもくこうみんかん 潤野下区公民館	館長	【地域づくり】 自治会単位での住民運動会や盆踊り、敬老会の実施やスポーツ行事への積極的な参加の推進を行った。高齢者巡回訪問やいきいきサロンの実施など地域住民のための事業に取組み、地域づくりに貢献した。	
32	田川市	天野靖久 あまの やすひさ	かみほんまちこうみんかん 上本町公民館	館長	【地域づくり】 公民館主事及び館長として長年に渡り公民館活動に携わり、地域活動として祭や清掃活動など地域の振興発展に貢献した。住民とのふれあいと連帯感を高め、みんなが住みやすい地域づくりのために永年に亘って尽力した。	

平成27年度福岡県公民館連合会表彰一覧（優良公民館表彰候補館）

種別	番号	市町村名	公民館概要			特色	
公立公民館	1	福岡市	公民館名	所在地	館長名	若年層が他校区と比較して多く、それらの人達の公民館利用促進のため、土曜遊びの広場、ニューススポーツ教室や親子料理教室、防災講座など、内容も工夫をこらし、若年層の地域活動の参画を促している。さらに公民館を核として、地域の人々と親しくふれあい活気に満ちた住民同士の結びつきの強い環境づくりを行っている。	
			かたかすこうみんかん 堅粕公民館	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1丁目8-2	安武明生		
			施設・設備の状況	敷地面積	1,123.94㎡		
				建物延面積	561.05㎡		
				構造	RC1階建		
				建築年月日	H16.8.1		
主な設備	事務室／託児室／学習室／地域団体室／和室						
自治（町内）公民館	2	那珂川町	公民館名	所在地	館長名	福祉部のサロンは毎月第2・4土曜日に小・中学生を対象にした、キッズプラザを、毎週金曜日にぴーすクラブ(乳幼児対象)を実施している。また、毎月第1木曜日にふれあいサロン(高齢者対象)を実施し活発に活動している。区民運動会では、防災などのテーマを掲げ本部各部や他機関と連携している。	
			いまみつこうみんかん 今光公民館	〒811-1211 筑紫郡那珂川町今光5丁目220	今本洋美		
			施設・設備の状況	敷地面積	不明 m ²		
				建物延面積	364㎡		
				構造	不明 2階建		
				建築年月日	H元.8.6		
主な設備	和室大広間						
自治（町内）公民館	3	大川市	公民館名	所在地	館長名	町民の親睦を図るためグラウンドゴルフ大会、夏祭り、ゴルフ大会、イルミネーション作成・点灯、江神社境内でのかがり火灯火及び初詣参拝者への甘酒振る舞い、ほんげんぎょう火入れ等を実施している。また、住みよいまちづくりのための美化運動にも積極的に取り組んでいる。	
			べにやまちこうみんかん 紅粉屋町公民館	〒831-0044 大川市大字紅粉屋619-1	井口賢信		
			施設・設備の状況	敷地面積	310.7㎡		
				建物延面積	164.2㎡		
				構造	木造平屋建		
				建築年月日	S51.4		
主な設備	会議室／和室／調理室／倉庫／トイレ						
自治（町内）公民館	4	田川市	公民館名	所在地	館長名	さくらクラブ、奈良夢良おこし会をはじめとし地域住民との交流と親睦を図る事業を数多く展開している。奈良公民館は、常時開放しておりいつも誰かが集まっているという公民館本来の機能を果たしている。市や警察署とも連携し、地域内の高齢者の見守りネットワークを構築している。	
			ならこうみんかん 奈良公民館	〒826-0043 田川市大字奈良190-3	田丸広海		
			施設・設備の状況	敷地面積	2,011㎡		
				建物延面積	1,370㎡		
				構造	鉄骨2階建		
				建築年月日	H6.1.23		
主な設備	大広間／会議室／小会議室／調理室／作業室						

〈講演〉

「地域のつながりを豊かにする公民館のあり方」 ～「教育としての社会教育」の可能性～

宇都宮大学 地域連携教育研究センター

准教授 佐々木 英和



〈プロフィール〉

- ・ 1966年 福井県生まれ
- ・ 1991年 東京大学 教育学部 教育行政学科 社会教育学コース 卒業
- ・ 1993年 東京大学大学院 教育学研究科 教育行政学専攻修士課程 修了

〈主な活動〉

前・文部科学省生涯学習政策局生涯学習調査官 栃木県生涯学習審議会会長
元・日本人間性心理学会理事

専門は、生涯学習論・社会教育学・教育行政学、人間性心理学、生きがい・自己実現論およびコミュニケーション論。

宇都宮大学にて、公開講座を企画・立案および広報等を担当し、大学生・大学院生の指導を行い「生涯学習概論」や「社会教育計画」などを講義している。他に、東洋大学・鶴見大学作新学院大学・国際医療福祉大学・上智大学・立教大学大学院等でも講義を行っていたほか、現在は東京大学教養学部で「現代教育論」を担当している。

文部科学省「社会教育行政の革新に関する調査委員会」委員、栃木県生涯学習審議会委員、宇都宮市生涯学習懇談会委員等の栃木県内各市町村の生涯学習関連委員を歴任し、県外では神奈川県茅ヶ崎市社会教育委員なども務める。また、生涯学習アドバイザーとして、東京都稲城市『Inagi あいプランーであい・ふれ愛・まなび1ー』、栃木県葛生町『くずう活躍人プラン』、栃木県小川町『わがおがわプラン』、栃木県二宮町『いちたす にのみや みんなでさんかプラン』、栃木県小山市『OYAMA まなびはぐくみプラン』等の生涯学習推進計画をプロデュース。さらに、地域の人材養成にも尽力し、社会教育主事講習主任講師として栃木県・茨城県関係の教育関係者を多数指導している。

〈シンポジウム〉

「活力を生み出す公民館」

〔コーディネーター〕

九州女子大学 人間科学部 教授 大島 まな 氏



九州大学大学院教育学研究科博士課程修了。福岡県社会教育委員、福岡県男女共同参画審議会委員、北九州市社会教育委員など歴任。著書に『社会教育の核心』『明日の学童保育』他。

（テーマについて）

公民館は地域活動の拠点です。地域社会のつながりが弱くなり、少子高齢化が急激に進む今、地域にはさまざまな課題があります。社会教育は地域課題に対処できているのでしょうか。公民館はそのための場となりえていますでしょうか。皆さんと考えたいと思います。

〔シンポジスト〕

宇都宮大学 地域連携教育研究センター 准教授 佐々木 英和 氏



東京大学大学院教育学研究科修士課程修了、同博士課程単位取得。前文部科学省 生涯学習政策局 生涯学習調査官、栃木県生涯学習審議会会長。著書に『よくわかる生涯学習』『社会教育と学校』他。

（テーマについて）

大変な危機の時代にもかかわらず、別次元にあると羨ましがられるような公民館活動を進めている自治体もあります。その最大ポイントは、生涯学習概念を明確化させつつプランをしっかりと立てていたことでした。今からでも決して遅くありません。戦略的手順を学んで実践していきましょう！

広島県大竹市立玖波公民館 職員 河内 ひとみ 氏



民間企業を退社後、平成12年から山口県岩国市中央公民館に社会教育指導員として勤務。現在は広島県大竹市立玖波公民館に勤務しつつ、広島大学客員研究員として地域連携や国際交流をテーマに研究中。

（テーマについて）

いま、公民館の危機といわれていますが、地域ごとに抱える課題はさまざま。地域を知ること→問題点を洗い出す→地域のニーズに合った解決へ。地域創生を公民館から発信していきましょう！

福岡県糸島市立南風公民館 館長 坂口 恵一 氏



IT関連企業に勤務した後、起業。主にIT関連職に40年以上従事。平成14年に南風小学校区に転居。同時に地域との積極的な交流を目指し、地域行事に様々な形で参加。平成24年より、南風公民館館長として勤務。

（テーマについて）

今、公民館事業や地域活動に対する要望も多様化し、変化の多い時期です。今まで以上に、自ら「現場で行動し観察する」ことで、住民の潜在ニーズを掘り起こし、地域の活力を生み出していきたいと思えます。

福岡県公民館大会年表

大会	日時	開催地	大会主題	全体討議テーマ
第1回	昭和28年1月	県社会教育会館		
第2回	昭和29年29年	八幡市		
第3回	昭和29年11月 19日～20日	筑紫郡二日市町 中央公民館	社教法5周年、青振法1周年を記念し公民館・青年学級の重要な諸問題を研究討議し、具体策を探り、既に展開している生活自立運動の促進を期す	公民館の振興はいかにあるべきか —社会教育の反省と将来
第4回	昭和30年11月 21日～22日	大牟田市 中央公民館	戦後10年間の公民活動を反省し、困難な諸問題について徹底的に研究協議を行い、具体的振興策を樹立すると共に生活自立運動の推進を期す。	赤字財政下の公民館をいかに振興するか
第5回	昭和31年10月 25日	飯塚市中央公民館	公民館を社会教育機関として整備強化し、勤労青少年教育の振興事業の効率化・総合化・大衆化をはかり、新生活運動の促進を期す	公民館の現状はこのままでよいのか
第6回	昭和32年10月 19日	豊前市八屋中学校	地方財政の窮迫や町村合併のなかで、公民館の組織運営を強化し、特に分館施設の整備と活動の活発化をはかる	新生活運動の反省と今後の推進方策について
第7回	昭和34年11月 21日～22日	福岡市中央公民館	社教法施行10周年を記念し、公民館10年の歩みを顧み新しい時代に即応する公民館のあり方と振興方策の研究	公民館10年の歩みとこれからの公民館
第8回	昭和35年10月 3日～4日	大川市市民会館	公民館運営の科学化・技術化を促進し、地域の社会教育センターにふさわしいものとするために設置基準に即して、当面する問題の研究	地域の社会教育センターとしての公民館の整備を計画的に推進するためにはどうしたらよいのか
第9回	昭和36年6月 3日～4日	直方市公会堂	地域社会の文化センターとして住民の実生活に即する社会教育の総合的推進に寄与する公民館活動と経営のあり方を求めて	地域の社会教育を総合的に推進するためにはどうしたらよいのか
第10回	昭和37年5月 13日～14日	行橋市行橋小学校	楽しく学び、豊かな暮らしと文化をつくるために公民館はどうしたらよいのか	青少年が楽しく学び健やかに成長するために公民館はどうしたらよいのか
第11回	昭和38年5月 25日～26日	北九州市戸畑区 文化ホール	住みよい地域社会に豊かな生活文化をつくろう	新しい地域社会の建設と生活文化の向上発展に資するためには公民館はいかにあるべきか
第12回	昭和39年5月 31日～6月1日	福岡市市民会館	ひとりひとりの生活をよくし、豊かな市民性を育てるために公民館はどうしたらよいのか	公民館への期待—とくに市民性の向上を中心として—
第13回	昭和40年5月 23日～24日	筑後市市民会館	変貌する社会における住民の社会教育活動を振興するための公民館の役割	地域住民の生活文化を高めるために果たすべき公民館の役割は何か
第14回	昭和41年5月 24日～25日	田川市体育館	住民の創造的・生活の確立をめざす自主的な学習活動を育てよう	住民の創造的・生活の確立のために(分科会テーマ)
第15回	昭和42年5月 14日～15日	豊前市市民会館	今日の生活をみつめ、明日の生活を築くための公民館の役割とそのための施設設備の充実と配置のあり方	地方自治と住民の学習(記念講演)
第16回	昭和43年5月 28日～29日	北九州市 八幡市市民会館	公民館の近代化と新しい活動の課題を求めて	社会生活の都市化と公民館の課題(記念講演)
第17回	昭和44年5月 31日～6月1日	太宰府町九州学園 福岡女子短大	急激な社会構造の変化に対処し得る人間づくりと新しい地域形成のための住民の教育機関としての公民館の新しいあり方と役割	これからの新しい公民館のあり方と役割(記念講演)
第18回	昭和45年5月 26日～27日	久留米市市民会館	未来をひらくための学習と公民館のあり方を考えよう	公民館の理想と現実

大会	日時	開催地	大会主題		全体討議テーマ
第19回	昭和46年5月 25日～26日	飯塚市 文化センター	住民の学習にこたえられるための公民館の施設設備を充実し、職員体制を整備し、市民社会を育てるための教育をすすめる		岐路にたつ 70年代の選択 (記念講演) 公民館の理想と現実
第20回	昭和47年7 月6日～7日	行橋市市民会館	住民の日常的学習要求に応じる公民館体制の確立と今日的役割を考え、また新しい地域社会(コミュニティ)形成のための公民館活動のあり方を考える		明日を創る公民館の新思路 (記念講演)
第21回	昭和48年5月 30日	福岡市立少年 文化会館ホール	生活に根ざす公民館活動の創造と前進		生活に根ざす住民の教育要求にこた えるための公民館の役割(シンポジウ ム)
第22回	昭和49年6月 6日	(八女市) 市町村会館	魅力ある公民館の創造と前進	実践発表 対面討議 全体討議	住民にとって公民館とは何か
第23回	昭和50年6月 1日	直方市民会館	豊かな地域づくりをめざす公民館の役割	シンポジウム 講演	コミュニティの形成と公民館これからの 公民館経営
第24回	昭和51年6月 3日	豊前市民会館	住民の生活を高めるための公民館事業 のあり方を考える	パネル討議 講演	住民の求めに応ずる公民館事業のあり 方 住民の生活を高めるための公民館事 業のあり方
第25回	昭和52年9月 22日	北九州市小倉南 市民センター	住民の学習要求に応えるための公民館 のあり方を考える	分科会(9) 講演	これからの社会教育
第26回	昭和53年7月 5日	太宰府勤労者 体育センター	地域住民の学習要求に応えるための具 体的な公民館のあり方を考える	分科会(8) 講演	地域と社会教育
第27回	昭和54年7月 3日	大川市 文化センター	多様化する地域住民の学習要求に応え るための公民館のあり方を考える	分科会(8) 講演	地域が育てる児童文化
第28回	昭和55年6月 12日	中間体育 文化センター	地域住民の実際生活に即した公民館の 在り方について	パネル討議 講演	地域住民の実際生活に即した公民館 の在り方について
第29回	昭和56年6月 3日	行橋市民会館	公民館が果たすべき今日的意義と役割 を考える	講演 シンポジウム(3)	青少年をとりまく諸問題に対処する社 会教育
第30回	昭和57年6月 9日	北九州市 小倉市民会館	住民が主体となる公民館の在り方を考え る	講演 分科会(8)	住民が主体となる公民館の在り方を 考える
第31回	昭和58年8月 9日	福岡県立福岡勤労 青少年文化センター	「住民の実際生活に即した公民館の役割 と機能を考える」—今、公民館は地域住 民とともに何をしなければならぬか—	講演 分科会(9)	「現代の青少年問題を考える」—思い やりのある社会づくりのために—
第32回	昭和59年6月 22日	甘木文化会館	生涯教育の視点に立った公民館経営の 在り方を考える	講演 パネル討議(3) 分科会(2)	ニューメディア時代を考える
第33回	昭和60年6月 13日	飯塚文化センター	生涯教育推進の拠点になる公民館のあ り方を考える	講演 分科会(8)	生涯教育の推進と公民館の役割
第34回	昭和61年5月 30日	豊前市体育館	生涯学習を推進する公民館の役割・機能 を考える	講演 分科会(7)	生涯学習と放送
第35回	昭和62年8月 6日	北九州市立 小倉市民会館	生涯学習を推進する公民館の役割・機能 を考える	講演 分科会(7)	「豊かな心を育てる地域社会の役割」
第36回	昭和63年7月 27日	福岡県立福岡勤労 青少年文化センター	生涯学習社会の形成をめざす公民館の あり方を考える	講演 分科会(7)	「生涯学習社会における公民館の役 割」
第37回	平成2年11月 21日	筑紫野市文化会館	生涯学習社会をめざす公民館のあり方を 考える	講演 シンポジウム(1) 分科会(4)	「生涯学習社会における公民館の役 割」

大会	日時	開催地	大会主題		全体討議テーマ
第38回	平成3年7月31日	直方市民会館	生涯学習時代に対応する公民館活動のあり方	講演分科会(5)	地域に根ざした公民館活性化への提言
第39回	平成4年7月30日	久留米市石橋文化センター	生涯学習時代に対応する公民館活動のあり方	講演分科会(5)	学校週5日制…公民館はどうする！！
第40回	平成5年9月17日	大牟田市大牟田文化会館	生涯学習時代に対応する公民館活動のあり方	講演分科会(5)	ボランティアの心
第41回	平成6年7月29日	田川市田川文化センター	住民とともに生涯学習社会を目指す公民館の学習・交流活動のあり方	講演分科会(5)	生涯学習社会における公民館の役割
第42回	平成7年8月3日	行橋市民会館	住民とともに生涯学習社会を目指す公民館の学習・交流活動の在り方	講演分科会(5)	公民館を元気に未来的にしよう！！－“愛されるため”の魅力アップ…インテリジェント化－
第43回	平成8年8月7日	北九州市立小倉市民会館	住民とともに生涯学習社会を目指す公民館の学習・交流活動の在り方	講演分科会(5)	生涯学習時代における公民館－絆な生き方と学衆国づくり－
第44回	平成10年8月20日	志免町立町民センター	生涯学習時代における公民館の主体性と役割を考える	講演分科会(5)	公民館のこれから－社会教育を取り巻く環境の変化に対応するために－
第45回	平成11年7月30日	中間市なかまハーモニーホール	生涯学習時代における公民館の主体性と役割を考える	講演分科会(5)	子どもと地域の教育力
第46回	平成12年7月28日	久留米市石橋文化ホール	新しい時代への期待、公民館の新たなあゆみを考える	講演分科会(5)	新しい公民館活動のあり方～21世紀の公民館像をめぐる～
第47回	平成13年7月27日	筑後市サザンクス筑後	21世紀の到来、地域とともに歩む公民館活動の新たな戦略	講演分科会(5)	家庭教育を支援する公民館活動のあり方
第48回	平成14年8月2日	飯塚市文化会館	完全学校週5日制スタート、公民館の新たな役割を考える	講演分科会(5)	社会教育の出番は、“今”～完全学校週5日制に対応した公民館活動のあり方～
第49回	平成15年7月23日	苅田町立中央公民館	地域拠点としての公民館の新たな役割を探る	講演分科会(3)	メディアから見た地域拠点としての公民館の役割
第50回	平成16年8月31日	北九州市北九州芸術劇場	「地域拠点としての公民館、その半世紀とこれからの展望」～未来型公民館の在り方を探る～	講演分科会(3)	「地域の学習拠点としての公民館」～現状と将来～
第51回	平成18年8月3日	宗像市宗像ユリックス	少子高齢社会に対応した公民館の在り方	講演シンポジウム	地域へのメッセージ：会社の人から社会の人へ少子高齢社会に対応した公民館の在り方を探る
第52回	平成19年8月8日	直方市ユメニティのおがた	「公民館の家庭教育支援、今、何ができるか」～子どもの生活リズム向上「早寝・早起き・朝ごはん」県民運動－	講演シンポジウム	家庭の教育力を高めるために、社会教育の力を公民館の家庭教育支援・今、何ができるか
第53回	平成20年8月1日	朝倉市サンライズ杷木	「学校・家庭・地域の連携を推進する公民館の役割」	講演シンポジウム	「社会全体の教育力向上」～学校・家庭・地域の連携協力～「学校・家庭・地域の連携を推進する公民館の役割」
第54回	平成21年8月1日	柳川市柳川市民会館	「教育力向上福岡県民運動の推進と公民館」	講演シンポジウム	「体験活動を通じた青少年の自立とこれからの社会教育」「教育力向上福岡県民運動の推進と公民館」
第55回	平成22年8月4日	田川市田川文化センター	「活力ある地域を創造する公民館活動のあり方」	講演シンポジウム	「地域づくり・まちづくりと公民館の現代的役割」「活力ある地域を創造する公民館活動のあり方」
第56回	平成23年8月4日	行橋市行橋市民体育館	「新しい公共」とこれからの公民館	講演シンポジウム	「『新しい公共』とこれからの公民館」「これからの公民館運営と役割」
第57回	平成24年8月2日	北九州市八幡市民会館	「絆づくりと活力あるコミュニティの形成」に向けて	講演インタビュー・ダイアログ	「元気の出るまちづくり」「これからの公民館運営と役割」
第58回	平成25年8月29日～30日	福岡市	「活力と魅力あるコミュニティづくりをめざして」～自立・協働・創造の実現は公民館から～	講演分科会(7)	※第64回九州地区公民館研究大会福岡大会を兼ねる
第59回	平成26年7月31日	春日市クローバープラザ	「地域の課題解決や活性化に向けた公民館活動のあり方」	講演インタビュー・ダイアログ	「地域の活性化に向けた公民館の役割」



平成27年度 (平成27年5月1日～平成28年5月1日)

公民館総合補償制度

本制度は、公益社団法人全国公民館連合会(全公連)の制度です。市町村の公民館および自治公民館、また社会教育法に定める「公民館の目的」に寄与する施設等は、名称を問わずご加入いただけます。
指定管理者制度を導入された公民館もご加入いただけます。

3つの補償で公民館活動をサポート

1. 行事傷害補償

【災害補償保険(公民館災害補償特約、熱中症危険補償特約セット)+見舞金制度】

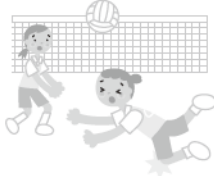
保険

- 公民館行事参加者、公民館利用者のケガを補償
- 公民館行事参加者の往復途上のケガや、行事の事前練習、準備中、後片付けでのケガを補償
- 食中毒や熱中症を補償

見舞金制度

- 急性疾病に、死亡弔慰金、入院見舞金をお支払い。
- 公民館建物災害に見舞金をお支払い

【補償例】



- バレーボール大会参加者が転倒して負傷。

2. 賠償責任補償

【賠償責任保険(施設所有管理者特約・昇降機特約セット)】

保険

- 公民館の施設の欠陥や業務運営のミスにより、第三者にケガをさせたり、物を破損し、公民館が法律上の賠償責任を負担した場合に補償

※公民館が所有、使用または管理する財物への賠償事故などは対象になりません。

【補償例】



- テントの張り方が悪く風で飛ばされ、行事来場者の車を破損。

3. 職員災害補償

【普通傷害保険(就業中のみの危険補償特約セット)+見舞金制度】

保険

- 公民館業務に携わる方の業務中のケガを補償

見舞金制度

- 公民館業務に携わる方の病気や業務外のケガに死亡弔慰金や入院見舞金をお支払い

【補償例】



- 職員が業務中に脚立から転落して負傷。

公民館総合補償制度の特徴

(1) 補償範囲や対象者が広い、公民館専用の制度です。

全公連が運営する『見舞金制度』に『保険』を組み合わせた公民館や類似公民館の専用の制度で、安心して公民館活動を行っていただけるよう幅広い補償になっています。

★行事傷害補償制度のここがおすすめ★

- 施設内はもちろん、日本国内であれば行事の場所は問いません。
- 行事参加者や利用者の居住地は問いません。
- 公民館の公認サークル活動参加者や有償・無償を問わず公民館ボランティアや講師も補償します。
- 宿泊をとまなう行事も対象です。

(2) 年1回の手続きで安心です。

年1回の手続きで年間の主催・共催行事が対象になり、個別の通知は不要ですので、うっかりして保険の手配を忘れる心配がありません。

(3) 保険料の割引制度もあります。

同一市町村内で10館以上まとめて加入されると、行事傷害補償掛金に割引が適用できます。
職員災害補償には、団体割引25%*、過去の損害率による割引20%*を適用しています。(*27年度契約)

このご案内は、本制度の概要を説明したものです。詳しい内容につきましては『平成27年度版マニュアル 公民館総合補償制度の手引き』をご覧ください。また、本制度全般のお問い合わせ、資料請求等は、エコー総合補償サービスまたは損保ジャパン日本興亜までお寄せください。

補償額と年間掛金（保険期間1年間）

行事傷害補償と職員災害補償は、見舞金制度と保険を組み合わせたものです。掛金と＜＞内の保険料との差額は、見舞金制度の掛金です。ご加入の際にお振込みいただく掛金は、＜ ＞の上段に太字で記載の金額ですので、ご注意ください。

※加入口数は1公民館につき1口までです。

1. 行事傷害補償		タイプ	S 型	M 型	L 型	O 型
保 険	保 険 金 額	死亡・後遺障害	500万円	650万円	850万円	1,000万円
		入院(1日あたり)	2,600円	3,900円	5,300円	6,500円
		手術	入院中の手術：入院保険金日額の10倍、外来の手術：入院保険金日額の5倍			
		通院(1日あたり)	1,200円	1,800円	2,500円	3,000円
見 舞 金 制 度	弔 慰 金 ・ 見 舞 金	急性疾病死亡	10万円	10万円	10万円	10万円
		急性疾病入院 (1日あたり)	3,000円	5,000円	8,000円	10,000円
		公民館 建物災害	※支払い限度額は10万円			
		①火災②落雷③破裂・爆発 ④建物外部からの物体の 落下・飛来・衝突・接触・破壊 ⑤水災 ⑥風災 ⑦震災 ⑧雪災	5万円	6万円	8万円	10万円
		公民館建物が、左記①～⑧の災害によって10万円以上*の損害を被った場合に上記見舞金をお支払いします。①～⑧の災害種類ごとに年1回の支払いを限度とします。				
1公民館あたりの 年間掛金	世 帯 数 区 分	A 1001世帯以上	81,000円 (72,500)	114,000円 (100,900)	153,000円 (137,500)	189,000円 (168,700)
		B 501～1000世帯	69,000円 (61,800)	96,000円 (85,000)	132,000円 (118,700)	165,000円 (147,300)
		C 301～500世帯	57,000円 (51,000)	78,000円 (69,100)	108,000円 (97,100)	135,000円 (120,400)
		D 201～300世帯	42,000円 (37,700)	60,000円 (53,100)	81,000円 (72,800)	102,000円 (91,100)
		E 101～200世帯	30,000円 (26,900)	42,000円 (37,200)	57,000円 (51,200)	72,000円 (64,300)
		F 100世帯以下	21,000円 (18,800)	30,000円 (26,600)	39,000円 (35,000)	51,000円 (45,400)

※水災については、公民館建物本体(付属建物、屋外設備、門、塀、垣根を除きます)に床面以上の浸水または土砂の室内流入があった場合は、10万円以上の損害を被ったものとみなします。

2. 賠償責任補償		タイプ	A 型	B 型	C 型	D 型	E 型
保 険	保 険 金 額 (1 事 故 あ た り) *		5,000万円	1億円	2億円	3億円	5億円
	事 故 対 応 特 別 費 用		保険期間中を通じ、1,000万円限度				
	被 害 者 対 応 費 用	対人見舞費用			死亡の場合	1名10万円限度	
		対物臨時費用			死亡以外の場合	1名2万円限度	
		1事故・保険期間中を通じ、対人見舞費用と対物臨時費用の合計で1,000万円限度					
1公民館あたりの年間掛金			3,000円	4,000円	5,000円	6,000円	7,000円

※1回の事故について、身体賠償と財物賠償のお支払い保険金は、合計して保険金額を限度とします。*免責金額(自己負担額)はありません。

3. 職員災害補償		タイプ	A 型	B 型	C 型	D 型	E 型
保 険	保 険 金 額	死亡・後遺障害	300万円	500万円	700万円	850万円	1,000万円
		入院(1日あたり)	2,200円	3,200円	4,400円	5,400円	6,600円
		手術	入院中の手術：入院保険金日額の10倍、外来の手術：入院保険金日額の5倍				
		通院(1日あたり)	1,100円	1,600円	2,200円	2,700円	3,300円
見 舞 金 制 度	弔 慰 金 ・ 見 舞 金	死亡(疾病、業務外のケガ、業務中の地震によるケガ)	10万円	10万円	10万円	10万円	10万円
		入院(1日あたり) (疾病、業務外のケガ、業務中の地震によるケガ)	2,000円	4,000円	6,000円	8,000円	10,000円
		※支払い限度額は10万円					
1名あたりの年間掛金 ※掛金のうち＜＞内の金額が保険料(単位：円)です。			2,700円 (2,020)	4,200円 (3,120)	5,500円 (4,310)	6,700円 (5,270)	8,000円 (6,330)

*保険料については、団体割引25%、過去の損害率による割引20%を適用しています。

*1公民館で複数の方がご加入の場合、全員同じタイプでご加入ください。掛金×人数が合計掛金となります。

■引受保険会社
損害保険ジャパン日本興亜株式会社
営業開発部第三課
〒100-8965 東京都千代田区霞が関3-7-3
TEL 03-3593-6436 FAX 03-3593-6564

「損害保険ジャパン日本興亜株式会社」は、
損保ジャパンと日本興亜損保が
2014年9月1日に合併して誕生した会社です。

■取扱代理店(お問い合わせ・資料請求先)
エコー総合補償サービス株式会社
〒101-0047 東京都千代田区内神田2-6-9
TEL ☎.0120-636-717
FAX ☎.0120-226-916

(SJNK14-16522)作成日 平成27年2月16日[1502K-⑩]

<福岡県公民館連合会ホームページ>

福岡県公民館連合会では、市町村の特色ある公民館活動や公立公民館一覧、県公連の活動状況、実践交流会で発表された実践事例等をホームページに掲載し、情報提供に努めています。

福岡県公民館連合会ホームページ：<http://www.fukuokaken-kominkan.jp/>



YahooやGoogleなどの検索サイトから「福岡県公民館連合会」と入力してもご覧になれます。

- 「お知らせ」に新着情報を掲載していきます。
- 「福岡県公民館大会誌」にこれまでの大会誌を掲載しています。



県公連と県内公民館を結ぶ情報誌です。

- 年3回ホームページ上で発行しています。
(7月、11月、3月)
- 市町村のページ特集
「特色ある公民館活動」
 - こちら県公連

定期更新(年3回)以外に、新着情報の随時更新を行います。
ぜひ、ご覧ください。



三里松原
日本の白砂青松100選の絶景



高倉びわ
100年の歴史をもつ初夏の味

